

「留学プログラムに対する学生の認識の増加とその実現性」

派遣留学に興味を持っている学生は多いですが、実際に留学する学生はそう多くはありません。理由として、多大な留学情報を上手く収集、利用できていないことが挙げられます。大学が主催する留学説明会では、留学制度の詳細や注意点などが主な内容でした。しかし、留学をするかどうか迷っている学生の視点から考えると、他にも知りたい情報があると私達は考えました。そこで、学生視点で知りたい留学情報を発信することで留学への第一歩を踏み出してもらうことを目的とした周知型セミナーとより詳しい留学情報を得たい学生を対象とした留学相談会を開催しました。セミナーと相談会では、参加者にフィードバックを目的としたアンケートを実施しました。また、参加者以外の理工学部生にも留学について興味をもってもらうために、セミナーと相談会の内容をまとめたパンフレットを作成しました。

留学セミナーは 10/1～10/3 の 3 日間、お昼休みの時間にローム記念館で開催しました。事前に、ポスター、メール、動画を用いて開催日時の周知を行いました。

セミナーでは、過去にダブルディグリー制度でフランスに留学されていた大学院生 3 名と、スペインの協定校から来日されている留学生 3 名にお話をいただきました。留学先の大学での時間割や履修科目、授業内容、寮の家賃や生活費、奨学金、大学の特色など学生が気になるであろうポイントを中心にお話いただきました。また、フランスに現在留学中の大学院生 3 名の協力のもと、留学先での生活の様子をまとめた動画を作成し、セミナーの最後に放映しました。セミナーでは、参加者だけでなく通りすがりの学生にも足を止めて聞いていただけました。

10/9 には、さらに詳しい情報を得たい学生を対象に理化学館 2F ラウンジで留学相談会を開催しました。参加した学生が留学経験者に直接質問を出来る対談形式で行いました。相談会では、学生の留学における迷いや不安に対してアドバイスをしたり、セミナーでは聞けなかった詳しい情報を得ることができた貴重な機会となりました。セミナーと相談会で学生から回収したアンケートには、「学生目線の内容で留学に親しみを持った」、「留学先での実生活を知ることができた」などの感想が記載されていました。



参加者以外の理工学部の学生にも留学に興味を持ってもらうために、留学セミナー・相談会の内容を分かりやすくまとめたパンフレットを作成しました。このパンフレットは、理工学部事務室に設置、さらに理工学部の新入生説明会で配布する予定です。